

朝食例会200回記念夕食例会 H21.8.8 ホテルグリーンタワー千葉

朝食例会200回記念夕食例会レポート

INDEX

月星会事務局が移転……………	2
総選挙の反省と決意(臼井日出男先生) ……	3
再び全力タッチの決意で(臼井正一氏) ……	3
委員会報告……………	4
会員異動 / スケジュール……………	4



朝食例会も今年の11月で第200回を迎える。8月度はその記念式典を夕食例会として行い、普段朝食例会に出席出来ない人にも多く参加を呼びかけ、総勢44名の参加にて開催された。

第1部の朝食例会の縮小版は、阿佐一郎例会企画副委員長の司会で執り行われた。阿佐会長の挨拶では、積み上げられた200回の意義や、直後に控えた衆議院選挙の対応について、臼井代議士からは、200回記念のお祝いやこれまでの在職期間中の支援について御礼が述べられた。

選挙に向けて、大変忙しい中にも関わらず、臼井正一氏が時間前にきちんと駆けつけて下さり、皆さんに支援のお願いを述べられ、大きな拍手を頂いた。

委員会報告の後、入会式が行われた。(株)PLUS-Y・永田洋子さん、(有)文元電気サービス・文元孝英さんの2名に入会証と月星会のバッジが贈呈され、それぞれご挨拶頂いた。

恒例の誕生日プレゼントコーナーでは、PR・IT委員長の栗原勇さん、例会企画委員長の木下英之さんに花束が贈呈された。ビジター紹介では、(有)トータルバランスの坂入清さん、エタニティーブラザーズの糀屋秀樹さんが一言ずつご挨拶された。お二方とも、第2部では積極的に会員と名刺交換をされていて、必ず入会される事と期待している。糀屋さんは自身のブログで、この日の事を「これは普段の朝食例会にも参加しなければ！朝7時からということ。早起きは三文の得だし。勉強も兼ねて会員になって頑張るぞっ！」と書かれている。月星会に新たなエネルギーを是非吹き込んで下さい！

盛り沢山ながらも速やかに進行し、最後に宍倉幹事長より第1部の閉会挨拶を頂き、第1部はお開きとなった。また、今月のフクロウ募金は7,682円のご協力を頂いた。

第2部は別室にて記念式典と懇親会が行われた。司会は例会企画委員会の紅二点・徳永康子さんと武田峰子さん。美人女性お二人の司会ということで、軽やかに進行した事

は言うまでもありません。

まず、会長挨拶の後臼井

代議士より、月星会のような会は他の代議士仲間を見てもなかなか存在しない貴重な会であるというお話を頂いた。

次に、グリーンタワー社主の林昇志さんより、乾杯のご発声を頂いた。

暑気払いを兼ねて開催された夕食例会。和やかに会食は進んだ。お酒も進み、終盤にさしかかった頃、セレモニーが行われた。

まず、この一年間の皆勤賞と準皆勤賞の表彰、現在在籍している歴代委員長金の田敏彦さん、小野成子さんに感謝状が贈呈された。また、毎回例会会場を提供して下さっているグリーンタワーさんにも感謝状が贈呈された。感謝状は木下委員長手作りのユーモアに富んだ感謝状でした。「感謝」を一つのテーマに作られたプログラムらしく、和気藹々とした式典となった。

盆踊り廻りで忙しい中、臼井事務所から今般の選挙における、月星有志の会の選挙事務所の説明や、法定ハガキの説明があったが、会員からは様々な意見や質問が飛び交い、会員一人一人の関心の高さや候補者への想いが感じられた。

最後に山本相談役より、差し迫った選挙の話を交えての締めのご挨拶を頂き、朝食例会200回記念式典、夕食例会は閉会した。

時期的に先約が重なる会員も多かったが、44名という大勢のご参加を頂き、充実した記念式典となりました。ご参加の皆さんありがとうございました。(例会企画委員会)

1年間皆勤賞、準皆勤賞の表彰者



◆ 1年間の皆勤賞 (敬称略)

臼井日出男、阿佐 幸雄、阿佐 一郎、臼井 正一、片野 洋子、川名 利夫、神房 三夫、林 威樹

◆ 準皆勤賞 (1回だけお休み)

真田 茂雄、林 理智子、山本 康昭

夕食例会を終えて

例会企画委員長 木下 英之

まずは、ご出席頂いた皆様、お忙しい中ありがとうございます。ました。

継続は力と言いますが、月星会唯一の毎月の例会行事、朝食例会が開催200回を数えるというのは、並大抵の事ではありません。この積み上げが出来たのは何より臼井先生が、『まず毎月第二土曜日の朝は朝食例会』と優先して下さり、率先して参加下さった結果、公務により物理的に不可能な時を除き、パーフェクトに出席頂いている事が大きいと思います。

また、この度感謝状を贈呈させて頂いた、歴代の委員長や委員の皆さんの努力、ホテルグリーンタワーさんのご協力も大きな要因です。

そして何よりも、土曜日の朝という早起きしづらい日にも関わらず、眠たい目をこすってご参集頂いた、会員の皆様のご協力があってこそ積み重ねられたものだと思います。

現在の経済状況の悪化や経営環境の変化があり、月星会の会行事も人数の減少傾向が続きます。会員もここ数年減少傾向です。臼井代議士がご勇退された今、朝食例会の形も変化していく必要が出てくるかと思えます。

継続していく企業は、守るべきものは守り、変化していくべき事には敏感に反応し劇的に変化を果たします。朝食例会の在り方に関しても様々な意見を頂いております。永く積み重ねていく為に、守るべきものは守り、改めていく事は素早く改め、250回、300回へ向けて橋渡しをさせて頂ければと思います。どうぞ、これからも朝食例会をはじめ、会行事にご参加・ご協力をお願いいたします。

例会企画委員会

平成21年9月12日(土) 於: グリーンタワー 幕張

9月度の朝食例会、司会は林威樹例会企画副委員長。

大逆風の中での選挙が終わり、初めての朝食例会となった。こんな時こそ臼井正一氏を元気付けようと、呼びかけを行い27名の参加を頂いた。

阿佐会長の挨拶の後、臼井代議士より、選挙のお礼を交えてお話を頂いた。続いて、臼井正一氏より選挙協力のお礼と今後の活動についてお話があった。選挙中の激務せから少し回復されたようで、元気なお顔を見られて何よりだった。

例月通り委員会報告の後、小川市議の市政報告では、市議会議長逮捕といった話題性のある話を聞く事が出来た。恒例の山本相談役の「美術鑑賞の壺」コーナーは第10回を迎え、トリノ・エジプト展など最近行われている展覧会の紹介が行われた。

お楽しみの誕生日の花束プレゼントコーナーでは、川名利夫さん、小川智之さんに花束がプレゼントされた。

今月は時間にゆとりがあった事と、新会員の永田洋子さんが初めて出席された事もあり、自己紹介も兼ねて一言スピーチを行った。久しぶりに行われた全員スピーチだが、さすが月星会員の皆さん、短い時間内でも会員一人一人のスピーチはそれぞれ個性があり、充実した時間となった。なかなか出席人数30名の壁を越える事が難しいが、参加して下さいた皆さんが少しでも笑顔になって帰って下さればと思う。

一言スピーチで真田茂雄さんが、力強く朝食例会への参加を呼びかけて下さった。御歳81歳。我々も負けずに頑張りましょう! 今月のフクロウ募金 7,280円。出席者27名。

(木下英之例会企画委員長)

月星会事務局が移転します

会長 阿佐 幸雄

有志の会の立ち上げとご協力に感謝

この度の衆議院議員選挙には、藤原相談役が代表を務めてくださり「有志の会」を立ち上げることができ、お陰様で何とか臼井正一さんの選挙を応援することができました。

残念な結果になりましたが、臼井正一さんには、今後も総理大臣をめざして活動を続けて頂きたいと思えます。

さて、昨年9月に臼井日出男先生が勇退を発表されてから、会員の皆様から今後の月星会の方向について色々とお話をいただきました。

臼井日出男先生には今後も地域の為に今までの経験を生かす活動をされるとのことで、月星会は引き続き先生の活動に協力して行きたいと思えます。

杞憂しておりました会員の減少も、会員増強運動のお陰で、むしろ会員は微増しており、安堵しております。

事務局が11月より移転

今年になって月星会の事務局を置かせていただいております臼井事務所が、大家さんの都合で選挙後に移転しな

ければならないようだとい、早速今期の予算でも移転を考慮に入れたものを作成いたしました。

いよいよ来月より臼井事務所が選挙で作業事務所にしておりました隣のビルの2階に移転することになりました。

そこで私どもの月星会では当面の間、事務局を情報管理委員会の川名委員長の「千葉フジ商事株式会社」さんに移すことに致しました。

従いまして来月11月からは、会員皆さまへのFAX送信なども川名委員長にお願いすることになります。

新事務局では今後、「会費のご請求」「行事案内の発送」「行事参加等の集計」「会員異動情報の収集」「会報の発送」など今まで行なって来ました事務局作業のすべてを行なうこととなります。

ピンチがチャンス、今こそ自立する時

会員の皆様には、しばしの間、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、寛容の精神でよろしくお願い申し上げます。今まで同様の会員サービスを行なえますよう、役員一同頑張っておりますので、何とぞよろしくご協力のほどをお願い申し上げます。

なお、会員の方の情報が変更された折には、変更内容を事務局宛にご連絡下さるようお願い致します。

総選挙の反省と決意

うすい日出男

まず初めに、今回の衆議院議員総選挙で、月星会の皆様には、温かいご支援を賜ったことに、厚く御礼申し上げます。そしてそのご厚意に応えることが出来なかったことを、お詫び申し上げます。しかしうすい正一人はまだ若いので、又ゼロからのスタートで頑張ってくれと思います。引き続き一層のご支援を賜りますようお願い致します。

さて、今回の総選挙では、事前の予想を遙かに超える民主党の圧勝に終わったのですが、その要因はいろいろあると思われませんが、残念ながらある意味では、有権者のその判断には、正しいものがあると思います。

それは永年に亘る政権与党の中で、活動が“硬直化”して来ていたと反省しています。例えば非常に多くの自民党国会議員が、「政策等について、これはいけない。改めるべき」と考え、是正を求めても、執行部がその意向を取り入れることをしなかったこと。そして硬直的な財政予算の在り方のために、社会保障の分野等、国民の中の弱い人々に対しても、

厳しい予算削減などを実行してきたことです。

例えば老人給付金の廃止や母子家庭の給付金の廃止、社会保障費の毎年の2千2百億円の削減などです。私はこうした自民党の在り方に閉塞感を感じ、より若い議員により強い正義感を以て発言し、行動して改革を断行して貰いたいと考え、70才を機に政界からの引退を決意しました。

この判断は間違いがなかったと今でも信じていますが、残念なのはその自民党改革の旗手として指名したうすい正一の当選を果たすことが出来なかったことです。

民主党のマニフェストは、全てに亘っての大改革を示しています。今はただ“お手並み拝見”としか言いようがありませんが、私が危惧するのは、全てにわたっての急激な改革は、もしそれが失敗すると、国民に大変なデメリットを与えることになるので、是非とも「穏やかな改革」を志してもらいたいと思います。

民主主義社会にあっては、“健全な野党の存在”が必要です。まず自らを糺すことによって、自民党を活性化し、次ぎの「政権交代」の基盤創りをして行かねばならないと考えます。また同志皆様のご指導を宜しくお願い致します。

再び全力ダッシュの決意で

白井正一

今回、月星会の皆様方の応援を頂いたにもかかわらず、私の実力不足から落選となってしまいました。

自分の県議選2回を含め、今まで色々な選挙を手伝ってきましたが、事務局体制が悪かった割には、大勢のボランティアが集まってきて、士気高く戦えた選挙は今回が初めてです。それだけに、開票結果を見て、申し訳なく思った次第です。

昨年の9月に衆議院議員選挙への出馬を決意して以来、約1年、今まで以上に死に物狂いで活動を続けてきました。今思えばあつという間の一年でした。

9月の敬老会、10月の体育祭、11月の文化祭、12月の忘年会、1,2月の新年会、3月の卒業式、4月の入学式(1~4月は政見パーティーも重なりましたっけ。)5,6月の総会、7,8月の盆踊り etc... その時々々の行事を思い出すと、正直、未だにめまいを覚えます。

麻生内閣誕生後、早期解散が確実視されていたので、短期決戦を意識した戦略を立てていました。一年間あるのであれば、もう少し違う戦い方も出来たんだと思いますが、そこら辺も衆院選の難しさだなと感じました。

今回の敗因を考察したとき、数え切れない程の答えが出てきます。また、多くの方からもご意見を頂きます。選挙における、正しいやり方、間違ったやり方は、正確な数字として出るわけではなく、開票結果としてのみ現れてきます。ですので、反省点全てを受け容れて今後活動していけば間違い

はないのですが、それが不可能である以上、正しいと信じる情報のみを選択して活動に反映させていかなければなりません。しかも、確実に少なくなる戦力の中においてです。

自民党が下野し、自分も落選してしまった以上、今までどおりの活動すらおぼつかないわけですが、この試練を乗り切り、私の政治力の向上に繋げていかなければいけません。

幸いにも、ゼロからのスタートではなく、少なくとも1以上のスタートを切れています。選挙後初の月星朝食会でも多くの会員の皆様の温かいご声援をいただきました。これは、何よりも励みになります。月星会の皆様が後ろで応援してくれている、そう思えばこそ、前を向いて全力ダッシュできますし、この環境に感謝、感謝です。

次の選挙が何時になるか判りませんが、一回り大きくなった正一を見ていただけるように頑張りますので、今後共にご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

●月星会事務局が10月1日移転します。

白井事務所の移転に伴い、月星会事務局を下記に移動いたします。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

★新月星会事務局★

〒262-0023 千葉市花見川区検見川町1-616
マリーンヒルズ 103
千葉フジ商事有限会社内

TEL. 043-273-9811
FAX. 043-273-9812

メアド info@tsukiboshi.net

委員会報告

青年経営者共育委員会

平成21年8月24日(月) 合同個人演説会と勝手に討論会

第2回基礎学修会報告

8月24日(月)に青年経営者共育委員会主催の第2回基礎学修会を開催しました。

8月度の開催予定日(25日)が衆議院選挙の真っ最中ということもあり、開場の設営やテーマの設定が難しかったのですが、ちょうどリンカーンフォーラム主催の合同個人演説会が衆議院千葉県第一選挙区(中央区・稲毛区・美浜区)で行われることを知り、青年経営者として、やはりどの政党が政権を担うのに相応しいか、研究することも重要だと考え、基礎学修会として参加することにしました。ただ参加するだけでは仕方ないので、合同個人演説会終了後、場所を変えて討議していこうという形で企画しました。

そこで、テーマを「政権選択!～勝手に討論会～」と題して、第1部は、合同個人演説会への参加、第2部は居酒屋において食事を採りながら、まさに勝手に討論をするという形式で募集したところ、第1部への参加者は21名、第2部へ16名と前回並みの参加者を募ることができました。ご案内から開催日まであまり時間がなかったにもかかわらず、参加して下さった皆様に本当に感謝しております。ありがとうございました。

さて、その内容ですが、第1部の合同個人演説会では候補者届け出順に各テーマごとに持論を述べて頂くという形を採っていました。前回の市長選の合同個人演説会と違うのは、テーマが候補者に事前に知らされていなかったこと、候補者から他の候補者への質問タイムが設けられていたこととあります。この質問タイムですが、やはり民主党有利ということが分かっていたのか、各候補者からの質問は田嶋候

補に集中していました。特に財源に対する質問が多かったと思います。

テーマについては、景気対策、年金問題、外交・安全保障という3つのジャンルに絞られ、各候補者から限られた時間ではありますが、それぞれの党の政策をベースに持論を展開したところでもあります。

この合同個人演説会の内容を持ち寄り、第2部として勝手に討論会を居酒屋で行いました。しかし、私の手配が悪く席が若干離れたしまったため、全員で討論することも、討論の進行もバラバラになってしまいました。それでもお酒が入り、それぞれ色んな意見交換ができたと思っております。

今回の結論としては、やはり正一候補の「総理大臣を目指す!」というこの言葉に尽きるのではないのでしょうか。今回は残念な結果になってしまいましたが、次回は何としても正一候補を国政に送り込みましょう!

今後も基礎学修会は、常にタイムリーな話題を議論していきたいと思っておりますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。
(小川智之青年経営者共育委員長)

10・11月の主なスケジュール

10/ 5(月)	役員会	18:30開会	ブラザ菜の花
10/ 7(水)	ゴルフコンペ	9:30スタート	真名ゴルフクラブ
10/10(土)	朝食会	7:00開会	ホテルグリーンタワー幕張
10/ ? ()	第1回定期講演会	開催日・時間・会場未定	
11/ 7(土)	日帰り散策旅行	行き先・集合時間・参加費未定	
11/ 9(月)	役員会	18:30開会	ブラザ菜の花
11/14(土)	朝食会	7:00開会	ホテルグリーンタワー幕張
11/16(日)	第3回通常学修会	19:00開会	生涯学習センター

会員異動 入会



ハセガワ ヨシノブ
長谷川 喜信

昭和23年3月11日生

血液型 AB型

紹介者 長谷川洋、穴倉龍子

事業名 (有) 総武テコムエンジ

役職 代表取締役

所在地 〒260-0022 千葉市中央区神明町 209-11

TEL 043-245-0230 FAX 043-245-0311

携帯電話 090-3347-6333

主力事業内容: 電話通信業、NEC 製品販売施工

事務所移転

●白井正一事務所

〒260-0031 千葉市中央区新千葉2-8-10

第3雄秀ビル201

TEL.043-243-3336 FAX.043-243-3337

●(株)ジェイシー教育研究所

〒260-0027 千葉市中央区新田町10-15 誠寿ビル2F

TEL・FAXは変更ありません。

会員異動 退会

平山 敏夫氏 (有)匠美建設 代表取締役 会社廃業のため

*チャーターメンバーとして当初からのご協力有難うございました。

衆議院議員選挙が終わり、民主党新政権が Manifesto の実現に向けて様々な動きを開始しています。白井正一候補の選挙結果については残念ではありましたが、強烈な逆風の中で精一杯の頑張りを見せたのではないのでしょうか。特に、後半の追い上げには鬼気迫るものさを感じました。私たち応援した有志も十分納得しています。引退された白井日出男先生がお書きになっているように、この結果を素直に受け止め、次期選挙に向けてポジティブに再ダッシュをかけていただきたいと思っております。

国政との直接的なパイプは一時なくなったわけですが、月星会がそのことにより活動の沈滞化を招くことはないでしょう。阿佐会長の言葉にあるように、自立の精神で引き続き前向きな活動を続けていこうではありませんか。(栗原)